

第 318 回 IEC 研究会（科研費研究会〔課題番号 15K01099〕との合同開催）議事録

日時：2017 年 6 月 11 日（日）14:00-17:30（京阪電車遅延のため 14 時開始に変更）

場所：京都情報大学院大学百万遍キャンパス M102 教室

司会：江見

書記：西本

出席：江見、矢島、広田、高橋、工藤、加藤、中西、西本

欠席：（届出あり）安谷、中村（州）、米田、河野、田中

内容：

1. 研究報告その 1

「水平投写型電子黒板を用いたアクティブ・ラーニング」

講演者：小林信三（京都情報大学院大学/野菜プラネット協会）

「熟練農業者の技術を継承するシステムの横展開」（平成 28 年度人工知能未来農業創造プロジェクト推進事業 <https://www.hidepro/>）の主な事業成果と今後の事業展開の報告を通じ、技能伝承システムの構築と発展について、アクティブ・ラーニングの理論と実践の両面から講演をいただいた。

2. 会務（諸会連絡・報告、情報回覧等）

■7 月 9 日研究会（IEC 会員外にもオープンな研究会）の実施について

当日の出席者間で、ML 上で協議されている事柄について確認・共有し、さらに協議を進めた。以下当日の協議内容。

- ・当日の会場 wifi 提供→必ずしも必要ないのでは？
- ・IEC 会員だけでなく会員以外の参加も受け付ける。会員・非会員合わせて 30 名を限度に受付。受付（出欠報告）窓口は IEC 事務局河野先生メールアドレスあてに、7 月 7 日（金）締切。
- ・内田先生講演後の、15 時～16 時が質疑応答&茶話会（無料）、茶話会で提供するお茶・ジュース、茶菓子等は当日参加の会員が買い出し（大阪大豊中キャンパスそばにコンビニ 2 軒あり）。
- ・17 時半～19 時に（同じ会場で）軽く宴会（希望者のみ、缶ビール+出前寿司等）、ワンコイン（500 円）程度の参加費を徴収する。
- ・広報について：IEC 会員各自の協力を得たい。A4 版 1 枚の案内チラシを作成する（西本担当）。JAEIS 全国大会（7/1～7/2）のプログラムに同梱する形で配布も。

■今後の研究会について

9月、10月の会場については吉田先生のお世話により、関西学院大学大阪梅田キャンパスを確保。

11月は例年同様、情報コミュニケーション学会・情報教育合同研究会に参加する？

12月は第1日曜日に例会および忘年会、会場未定

■有馬温泉での宿泊討論会について

当初、7月9日の例会に合わせて7月8日～9日に予定していたが、会場の予約がとれなかったため、別日程を調整後、会場予約を行い実施したいとの提案がなされた。

3. 研究報告その2

「数学で”Active Learning”って？」

話題提供者：中西祥彦

話題提供者が以前数学検定 (<http://mathcoacher.com/>) のオフ会で行ったプレゼンテーションをもとに、数学でのアクティブ・ラーニングは可能か？という問いかけ。

参考：「数学教育の達人 中西 祥彦先生による分かりやすくユニークなプレゼンテーション」

<https://www.youtube.com/watch?v=eqanOC2d7CI>

日立マクセルと共同研究中の水平投写型電子黒板と ZOOM (<https://zoom.us/>) という会議アプリを組み合わせ、話題提供者（講師役）と研究会参加者（受講者役）がインタラクティブなやりとりを行うワークショップ形式で行われた。なお遠隔受講を想定した別室参加も試行された。

4. その他

■書籍回覧等

・アクティブ・ラーニング関係

アクティブラーニングシリーズ（東進堂、溝上慎一監修）

1『アクティブラーニングの技法・授業デザイン』

2『アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習』

3『アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習』

5『高等学校におけるアクティブラーニング：事例編』

6『アクティブラーニングをどう始めるか』

7『失敗事例から学ぶ大学でのアクティブラーニング』

『「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実施されるICEモデル』

→原著 Sue Fostaty Young & Sue Fostaty Young “Assessment & Learning the Ice Approach”

『学習する組織』

『ブレンディッド・ラーニングの衝撃』

・加藤先生提供

『11歳からの正しく怖がるインターネット：大人もネットで失敗しなくなる本』

『アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書』

『統計力クイズ：そのデータから何が読みとれるのか?』

『最速で最高に魅せる PowerPoint プロフェッショナルテクニック』

『アクティブ・ラーニングを動かすコーチング・アプローチ』

『思考のスイッチを入れる 授業の基礎・基本』

“Information Technology in a Global Society”

“Information Technology in a Global Society Solutions Book”

・高橋先生提供 (JAEIS 予稿)

「教職課程コアカリキュラムを踏まえた教職科目のあり方～「各教科の指導法」「教育方法及び技術」および「情報機器の操作」～」

「教職を目指す学生のための ICT リテラシー向上のための教材開発」

以上